



グリップヒーターSP 取り付けについて

08Z51KYJS01

適合車種：FORZA Si / GROM

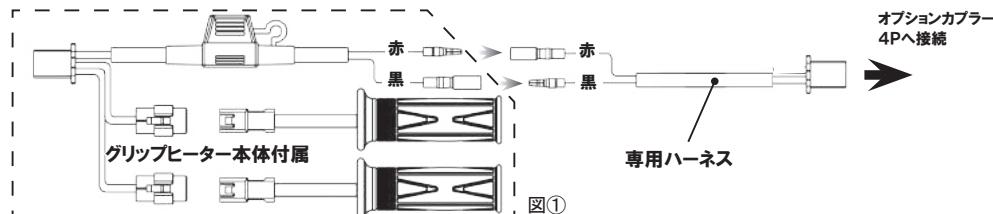
このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な
事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

●構成部品●

- 専用スロットルパイプ・・・1個、専用ハーネス・・・1本、書類・・・1部



<FORZA Si>

●接続する前に

グリップヒーターを接続する前に車両のサービスマニュアルを参考にしてフロントメーターパネルを取り外しておきます。
(写真①)

オプションカブラー4Pの位置を確認して、巻かれているビニールテープを剥がします。

*FORZAには4Pオプションカブラーが2つありますが、奥まったところにある方のみが使用できます。
(2Pカブラーと並んでいる方の4Pカブラーです。)



①配線の接続について（図①）

グリップヒーター側ハーネスのギボシと専用ハーネスのギボシをそれぞれ接続し、専用ハーネスのカブラーを車両ハーネスのオプションカブラー4Pに接続します。
このとき、左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をおきます。問題無く動作すれば、グリップとスイッチはいったん外します。



< GROM >

●接続する前に

グリップヒーターを接続する前に車両のサービスマニュアルを参考にしてシュラウド（左側のみ）、ヘッドライトassy.を取り外しておきます。

オプションカブラー4Pの位置を確認して、巻かれているビニールテープを剥がしておきます。（写真②）

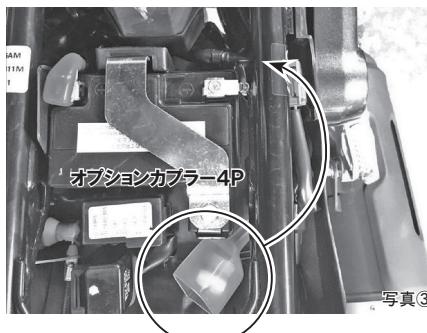
①配線の接続について（図①）

グリップヒーター側ハーネスのギボシと専用ハーネスのギボシをそれぞれ接続し、専用ハーネスのカブラーを車両ハーネスのオプションカブラーに接続します。
左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をおきます。
問題無く動作すれば、グリップとスイッチはいったん外します。

*年式によっては車両側のハーネスをすらして、オプションカブラー4Pを車体前方へと移動させる必要があります。

●GROM (JC92) の場合

バッテリーの後側にあるオプションカブラー4Pを写真のように車体前方に移動させてください。



②純正グリップの取り外し

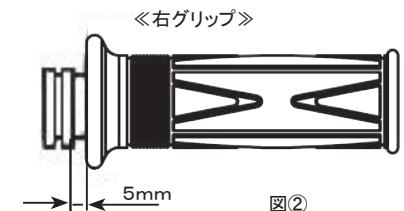
左右それぞれの純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着しているボンドをペーツクリーナーなどできれいに取り除きます。

③スイッチ部の取り付け

リングタイプスイッチを左側グリップを取り付ける前にハンドルパイプに固定します。
→このとき、車両の操作の邪魔にならない位置に固定してください。

④左右グリップの取り付け（参考例）

下記の図①を参考にして、本取り付けキットを使用してグリップヒーターを接続した後、スイッチをONにしてグリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。
また、右グリップはサービスマニュアルを参考に純正を取り外して付属のスロットルパイプに交換して、グリップヒーター本体の説明書を参考に、スペーサーを先に入れてからグリップを取り付けしてください。
右グリップは下図のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。



●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に1分以上は暖めないでください。(特に右側)。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

*右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

*必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離した状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

<FORZA Si>

③スイッチ部の取り付け

ハンドルパイプの空いているところにクランプします。
このとき、ウインカーなどの操作の邪魔にならない位置に
クランプしてください。

④配線のまとめ

それぞれの取り付けが終わったら、まずはフロントハンドルカバーの間から左右グリップ、スイッチの配線を通してハーネスのカプラーに接続します。配線の長さが余ってしまっている部分はタイラップなどでまとめて固定します。
→ハンドルを左右に動かして、ハーネスに力がかかるでないか、ハンドル操作の邪魔になっていないか確認します。

⑤取り付け完了

取り外したカウルなども元に戻す前に、イグニッションキーをONにしてグリップヒーターの動作確認をします。
問題なく温まつたら、カウルを元に戻して取り付け完了です。

< GROM >

③カウルの加工と配線のまとめ

配線をまとめる前に、一度配線をすべて接続して、グリップヒーターの動作確認をします。
問題なく温まつたら、一旦配線を外します。
左右クリップ、スイッチからの配線はハンドルパイプについている純正バンドで一緒にクランプします。メーターとトップブリッジの間くらいに配線を通し、配線の長さが余ってしまっている部分はタイラップなどでうまくまとめて固定します。
→ハンドルを左右に動かして、ハーネスに力がかかるでないか、ハンドル操作の邪魔になっていないか確認します。

④スイッチ部の取り付け

ハンドルパイプの空いている所にクランプします。
このとき、ウインカーなどの操作の邪魔にならない位置に取り付けてください。

⑤取り付け完了

カウルを元に戻して取り付け完了です。



・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上のイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
endurance-parts.com